

# 議会報告

3月に開かれた予算特別委員会において18項目にわたる質問をさせていただきました。主な内容を掲載させていただきます。

赤ちゃんおでかけマップについて	
質問	答弁
授乳やおむつ替えのできる赤ちゃんの駅設置場所が掲載されたマップの配布方法について、また市民に愛称やシンボルマークの募集を要望	当初は4ヶ月健診の受診時や1歳半健診の受診時に配布予定 愛称やシンボルマークは必要だと考える、市民からの募集も検討する
保育ママについて	
質問	答弁
待機児童解消のため、保育ママを市の施策として要望	現在、待機児童解消のため、認可保育所の定員増を基本に取り組んでいる。保育需要の推移を見ながら保育ママについても実施に係る課題を整理していく。
高齢者に対する肺炎球菌ワクチンと乳幼児に対するヒブワクチンの公費助成について	
質問	答弁
高齢者のインフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンを両方接種することで、肺炎での入院や死亡を減少させる効果があるが8000円かかる、またヒブワクチンは乳幼児の細菌性髄膜炎に1番の予防策とされているが1回7000円程度で3~4回の接種が必要で高額となる、公費助成を要望	現在、両ワクチンは任意接種として位置づけられており、接種による健康被害に対する負担、供給不足、財政負担などの課題がある。国の審議会の動向を注視しながら、本市として、子育て支援策及び高齢者施策の中で、優先順位を判断する。
女性特有のがん検診推進事業について	
質問	答弁
乳がん、子宮頸がん検診、無料クーポン券配布の継続の要望、ワクチンと検診で唯一予防できる子宮頸がんワクチンの公費助成の要望	無料クーポンの配布は、22年度は引き続き実施するが、23年度以降については、受診率の状況や、国の補助制度を踏まえ対応を判断していく。ワクチンの公費助成については、国の動向を注視しながら、保健センターの施策と合わせて検討する。
青少年サポート事業について	
質問	答弁
ひきこもりなど、青少年が抱える悩みについての相談事業についてもっと市民に周知する必要性を主張、またメール相談の取り組みを要望	現在、面接と電話での相談事業を実施している、メール相談については、専門相談員の体制などの課題もあり、先進事例を研究していく。

その他、選挙事務経費について、公用車について、ワークライフバランスについて、市民病院の医療相談室、診察待ち時間について等々質問しました。